

シルバー人材センターは

町を支える

人材の宝庫とよ!



写真説明(上2枚)
①休憩中、会話が弾む②トイレ周辺を清掃する齊藤さん
写真説明(下) / ペットボトルの仕分け



町シルバー人材センター 田上静子さん(83) 齊藤俊子さん(80)



公園のトイレって誰が掃除してるの?

町の公園にあるトイレを、誰がきれいに清掃してくれているのか、疑問に思ったことはありませんか? 実は、シルバー人材センター会員の80歳を超えた二人のシニア、田上静子さんと齊藤俊子さんによって、これらのトイレは清潔に保たれているのです。

田上さんと齊藤さんは、定年からシルバー人材センターに20年以上登録しているベテランです。

二人は「町民憩の家」の清掃業務からのパートナーでした。10年以上トイレ清掃を続けていた田上さんのもとへ、齊藤さんがクリーンセンターでのペットボトル仕分け業務を経て、今年4月から再びパートナーとしてトイレ清掃のチームに加わりました。

トイレ清掃業務は月6〜7回行われ、午前8時半から午後5時まで、町内13カ所の公園のトイレを巡回します。業務内容は、便器の洗浄、床のブラッシング、洗面化粧台の清掃、トイレトiletペーパーの補充、水回りの点検、トイレ周辺の清掃と多岐にわたります。「新しいトイレは良かばってん、くみ取り式

写真説明 / トイレ床を丁寧にブラッシングする田上さん。根気がいる業務



のトイレは臭いし、虫もわくから大変。けれど、きれいにしておくのと、みんなもきれいに使ってくれるから、それがうれしくてね」と田上さんは語ります。

シルバー人材センターの魅力について尋ねると、自分の体調や都合に合わせて無理なく続けられること、そして年齢に関係なくいつでも、いつでも仕事ができること、と二人は言います。

「生涯現役と思うのが、健康寿命の秘訣ばい。気持ちの持ちようは大仕事。明日は仕事と思うと、痛かった腰も痛くなくなるとよ」と齊藤さん。「やっぱり仕事が好きなのかな」「仕事が趣味たい」と笑い合う二人。こうした縁の下の力持ちとも言えるシニアたちが、町をしっかりと支えているのです。